

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

農業をとおしてSDGsを考える

～できることから始めよう【きのこ農家編(後編)】～

SDGs「持続可能な開発目標」。これは以前から「食料の供給」「自然環境の保持」「雇用の創出」など、さまざまな分野で取り組まれており、飯山市でも、重要な役割を担い、発展・変遷を成し遂げてきました。きのこ農家編(前編)に引き続き、今回は、きのこ栽培において、持続的な発展につながる現在の取り組みをご紹介します。



足立家のキノコ話

農地利用最適化推進委員
足立 久子

わが家は、河川敷に多くの畑を持つ長芋・ごぼうの生産農家でしたが、度重なる水害で大打撃を受け、畑作経営を諦めて、多額の資本を投資してもやっていけないのではと平成元年にキノコの施設栽培に転換しました。しかし、企業の参入や多量出荷などにより価格は低下し、燃料の高騰、機械設備の老朽化、後継者不足などにより、出荷量が全国トップを誇っていたキノコ産業も、今は4分の1に減少してしまいました。

平成20年の燃料高騰時に常圧殺菌窯から高圧殺菌窯に替えることで、重油の使用量が半分くらいになりました。キノコの生育に必要な光源は、蛍光灯からLED管に替わり、キノコの包装は、ごみ削減のため発泡スチロールからノントレー包装などになりました。



▲光源はLED管に



▲パッケージは、ノントレー



▲環境に優しい冷凍機へ

した。フィルムは、植物由来のものが使われ始めていますが、コストが高いのが問題です。また、オゾン層を破壊するという冷凍機のフロンガスの使用が制限されるというところで、環境に優しいガスに変わるそうです。それに伴い、冷却する仕組みも変わるため、徐々にクーラーと配管を取り換えていく必要があります。

また、数年前から担い手として外国人技能実習生を受け入れていきます。現在は、管理団体、外国人技能実習機構に守られ、実習生でも働きがいのある環境づくりが進められており、不平等がないように配慮されています。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	

あぜ道だより

飯山地区農業委員
高澤 富士子



これが私のオススメの「農」の絵本。読んでみてください。

斑尾にある絵本美術館の館長でもある高澤さん。「農」の絵本をご紹介します。

家庭菜園程度しか農業経験のなかった私にとって、田畑が法律や行政の力で守られ、何よりも耕作を担う方々の努力がなければ維持できないと知ったのは、ここ飯山に嫁いでのことでした。雪解け水に育まれたおいしい米、朝露をまとった新鮮な野菜が身近にあることが決して当たり前のことではないことを知りました。

『田んぼの1年』 (小学館) 田んぼの周りに息づく草花や虫、動物を通して米作りを追うパノラマ絵本。地中に、地表に、空にさまざまな生き物が田んぼを取り囲み、苗から黄金色の稲穂に到るまでの命のドラマ

『りんご畑の12か月』 (講談社) 長野県安曇野市が舞台。若きりんご農家と都会に住む男の子との交流を描きます。りんごへ注ぐ愛情ややりがいを語る姿が頼もしい

(農地パトロール) **農地利用状況調査を実施します**

農業委員会では農地の確保と遊休農地化の防止を目的として、農地の利用状況調査(農地パトロール)を実施します。農地への立ち入りなどにご理解とご協力をお願いします。

■調査の期間 7月から8月

よもやま話 やっかいな生き物ミニ図鑑

ニワウルシ



近年、遊休農地や道路脇などでウルシのような木を見かけませんか。畦畔(けいはん)や遊休農地などで、切っても切っても生えてくる、切るとくさい臭いがする木「ニワウルシ」の分布が、飯山市内はもとより長野県内各所で拡大しています。

“ウルシ”とありますが、かぶれません。中国原産の落葉樹で明治時代に持ち込まれ、成長が速く、壮大な樹形のため、街路樹や公園に植栽されたこともあるようです。確かに大木になると壮観です。

しかし、種子の生産量が多く、羽根つきで四方八方に飛散します。根づくとも地下茎でも分布を広げ、あっという間に勢力を広げてしまいます。根が浅く倒れやすいため、防災上も留意が必要です。

普段から根気よく刈っていればよいのですが、放置するとよく地下茎が発達します。切ったり除草剤を散布したりして地上部がなくなると、一斉に萌芽(ぼうが)してやっかいです。地下部も一気に枯らすために除草剤の樹幹注入が効果的だと思います。

あしあと5・6月の活動記録

- 5月10日 農業委員会役員会
- 25日 5月農業委員会総会
- 情報委員会
- 6月10日 農業委員会役員会
- 21日 管内視察研修
- 27日 6月農業委員会総会